



文花中NEWS 第8号

令和6年11月26日
墨田区立文花中学校
校長 遠藤 博則

ぶんかちゅう がくりよくこうじょう と く 文花中 学力向上の取り組み

今回は文花中学校の学力向上の取り組みを紹介いたします。

【朝読書】

毎朝8時25分から8時35分までの10分間、生徒自身が選んだ本で読書しています。1日10分間と短い時間ですが、一週間で50分間になり、ちょうど中学校の授業の1時間分になります。読書は学力の最も大切な基礎の一つです。以下に読書の大切さを説いた文章を引用します。



教科書を理解するにも、先生の解説を理解するにも、語彙力や読解力が必要だが、語彙力や読解力を高めるのに有効なのが読書である。
「勉強ができる子は何が違うのか」榎本博明 著

AIによって記憶と練習に基づく定型的作業はAIに取って代われ、人の仕事は創造性と探究と協同と価値判断に基づくものへと変容する。従って、幅広い教養が求められるが、その基礎に読書の学びがある。
内外教育 第7155号「生成AI時代における読書の学び」佐藤学 著

朝読書以外にも文花中学校は学力向上の取り組みをいろいろ行っています。今後も紹介していきます。

小学生の皆さんにも読んでもらえるように、漢字に読み仮名を付けています。